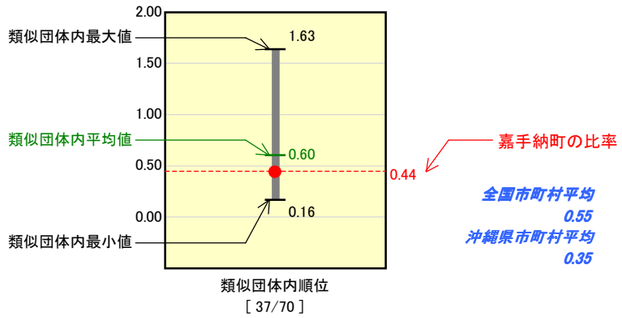
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

沖縄県 嘉手納町

人　　口	13,772	人(H20.3.31現在)
面　　積	15.04	㎢
歳入総額	10,772,734	千円
歳出総額	10,503,511	千円
実質収支	91,141	千円

財政力

財政力指数　[0.44]

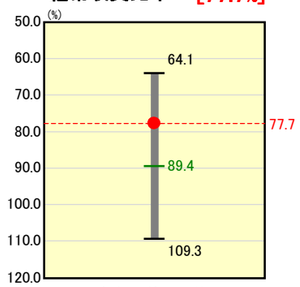


類似団体内順位
[37/70]

全国市町村平均
0.55
沖縄県市町村平均
0.35

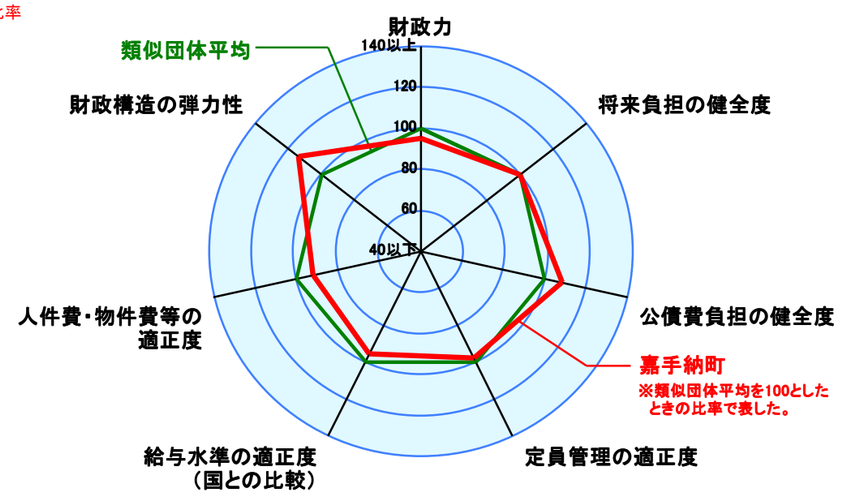
財政構造の弾力性

経常収支比率　[77.7%]



類似団体内順位
[6/70]

全国市町村平均
92.0
沖縄県市町村平均
90.4



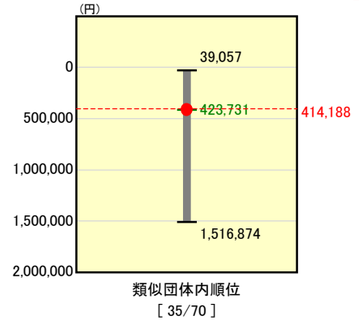
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高　[414,188円]

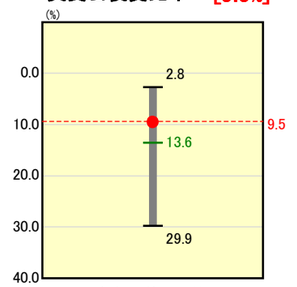


類似団体内順位
[35/70]

全国市町村平均
446,922
沖縄県市町村平均
386,771

公債費負担の健全度

実質公債費比率　[9.5%]

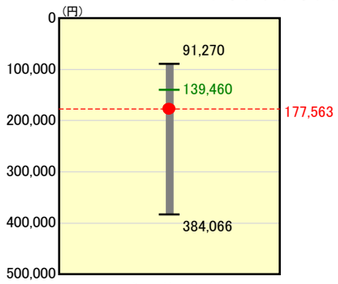


類似団体内順位
[12/70]

全国市町村平均
12.3
沖縄県市町村平均
13.5

人件費・物件費等の適正度

人口1人当たり人件費・物件費等決算額　[177,563円]



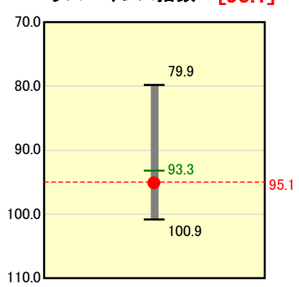
類似団体内順位
[57/70]

全国市町村平均
116,898
沖縄県市町村平均
110,057

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし
人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

給与水準の適正度　（国との比較）

ラスパイレス指数　[95.1]

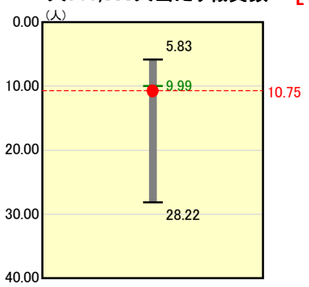


類似団体内順位
[45/70]

全国市平均
97.0
全国町村平均
93.2

定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数　[10.75人]



類似団体内順位
[41/70]

全国市町村平均
7.82
沖縄県市町村平均
8.36

分析欄

●財政力指数：ここ数年間連続した伸びを見せており、平成19年度数値は0．44、沖縄県市町村平均を0．09ポイント上回っている。しかし、類以団体内平均値より0．16ポイント下回っており、今後は財政力強化を図るため自主財源の確保に向け課税客体の把握、徴収率の向上に努めるとともに更なる歳出削減に取り組む。

●経常収支比率：平成19年度は77．7%で対前年度比0．6ポイント改善となった。全国市町村平均を14．3%ポイント、沖縄県市町村平均を12．7ポイント下回っている。しかし、財政構造の弾力性を現す経常収支比率は、一般的に76%～85%を要注意ゾーンとしており、引き続き経費の削減に努めたい。今後は施設維持費等の経常的な経費の増加が予想されるため、「集中改革プラン」を基に更なる行財政改革へ取り組み、義務的経費の削減に努める。

●ラスパイレス指数：国を基準とした場合、本町は95．1%で4．9ポイント下回っているが、類以団体内平均を1．8ポイント、全国町村平均を1．9ポイント上回っている状況にある。引き続き給与適正化に努める。

●実質公債費比率：平成19年度は9．5%と類以団体内平均、全国市町村平均並び沖縄県内市町村平均を大きく下回っている。しかし、今後は市街地再開発事業に係る地方債の元利償還に伴う比率の上昇が予想される為、引き続き新規事業に係る地方債発行の抑制に取り組む。

●人口1人当たり地方債現在高：全国市町村平均額、類似団体平均額を下回ったが、沖縄県市町村平均額を上回っている。これらは市街地再開発事業に係る地方債の借入等によるものである。今後は新規事業に係る地方債発行の抑制に取り組む。

●人口1，000人当たり職員数：基地対策や市街地再開発事業部門に配置された職員などを起因に、本町の1，000人当たり職員数は、類以団体内平均、全国市町村平均及び沖縄県市町村平均を上回っている状況にある。今後も引き続き事務事業の見直しを行い定員管理の適正化に取り組む。

●人口1人当たり人件費・物件費等決算額：人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの決算額が全国市町村平均並び沖縄県市町村平均を上回っている。今後は、集中改革プランに基づき、人件費の抑制と事務事業の見直しを行い、経費削減に取り組む。